

草平の灯



令和5年12月22日

No 11

佐屋高校からキャベツが届きました

佐屋高校の生徒が心を込めて作ったキャベツが19日の給食で出ました。寒い中で育てているキャベツは甘みがあり、心を込めて育てた高校生の気持ちも味にプラスされていました。どこのクラスを見に行っても、皆たくさん食べていました。「佐屋高校のお兄さん、お姉さん、ありがとうございました。おいしかったよ」というメッセージを持った写真を佐屋高校の生徒に届けました。



朝礼での講話

校長先生にとっては2023年すごくすごく良い年でした。何が良かったのかを話しますね。

1 誰も交通事故や災害に遭うことなく、元気いっぱい学校に来ることができたこと

校長先生が初めて6年生で担任をした子がいました。学級委員でよく先生を助けてくれる優しい子でしたが、19歳の時国道1号線で事故に巻き込まれて亡くなりました。葬儀に出てとても悲しかったです。朝、元気に家を出て、元気に家に帰ることってすごいことなんだよね。

2 おはよう、ありがとうが増えたこと

今日は、担任の先生に「ありがとう」、交通指導員さんに「ありがとう」、おうちの人にも「ありがとう」をたくさんたくさん言ってください。「ありがとう」が増えると幸せになります。

3 いっぱい給食を食べることができたこと

草平小の給食の残菜は本当に少ないです。どこのクラスに行っても食缶が空っぽのことが多いので、本当にうれしいです。ぜひ、家に帰っても学校と同じように食品ロスを無くしてください。

今日は冬至と言って、1年で一番夜が長い日です。かぼちゃを食べてゆずのお風呂に入ると1年間元気に過ごせます。1月9日に元気な皆さんに会うことを楽しみにしています。

2023年ありがとうございました

今日で学校も終わり、2023年も残り1週間ほどとなりました。今年は、コロナ禍の人数制限も解除され、多くの方に学校に来ていただいて、子どもたちが元気に活躍する姿を見ていただくことができました。

ここ数年、異常気象の影響で40℃を超える日があったり、海では南国にいるはずの魚が愛知県でも見られるようになっていたりしています。ゲリラ豪雨の様子をみていると、環境の急激な変化で身の危険を感じることも多くなってきています。また、各地で意味のない戦争が起きて、多くの方が犠牲になっています。子どもたちがこのような困難な時代を生きていくためには、自分の考えをしっかりと持ち、多くの人と関わって協力しながら生きていく力が大切だと考えています。

草平小学校の教育目標である『自分のよさを生かし、知・徳・体の調和のとれた人間形成を図り、変化する世の中を「柔軟に生き抜く力」を身に付け、社会に貢献できる児童の育成』を柱として、これからも教育活動を進めていきます。

今年も学校に対してご支援・ご協力いただきありがとうございました。よいお年をお迎えください。

